

4. (資料) 巻き込まれ事故の状況

◆ 死傷者の発生状況

平成 25 年から令和元年 8 月までに公表された巻き込まれ事故 111 件中、37 人が死亡し、59 人が重傷、14 人が軽傷を負っています（表 1 参照）。

乗組員の構成状況を見ると、単独で乗り組んでいる船舶では、複数で乗り組んでいる船舶とは違い、巻き込まれた後、死亡した状態で発見されることが多いことがわかりました。複数員の乗り組みの場合は、「挟まれた人の声を聞いた」「巻き込まれる瞬間を見ていた」「不審に感じ、確認し発見した」のように、事故発生後、すぐに気づき、救助することができることから、単独で乗り組んでいた船舶よりも救助できると考えられます。

表 5 乗組員の死傷等の状況 (単位：人)

乗組員数	死亡	行方不明	重傷	軽傷	計
単独	17	0	3	3	23
2名	3	0	12	1	16
3名	2	0	10	4	16
4名	0	0	4	0	4
5名	6	0	5	1	12
6名以上	9	1	25	5	40
計	37	1	59	14	111

◆ 発生月別の状況

5 月から 10 月にかけて多く発生しており、この半年で全件数の 63%にあたる 70 件が発生しています。

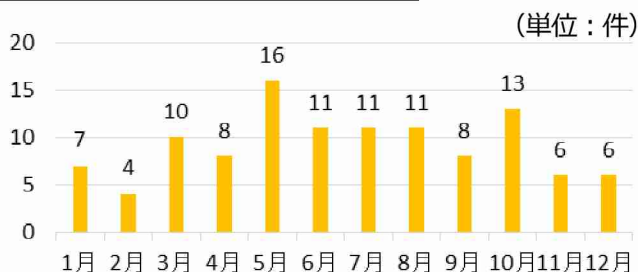


図 5 発生月別の状況

◆ 発生時間帯別の状況

午前中の 4 時台から 10 時台が 68 件 (61.2%) で、5 時台をピークに午後には 3 分の 1 ほどの発生となっております。

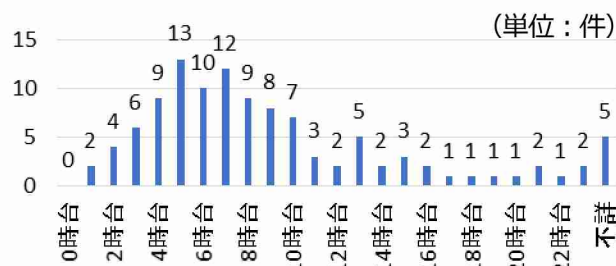


図 6 発生時間帯別の状況

事故防止分析官のひとこと

回転している揚網機等に巻き込まれる事故を特集しました。いつも使用している機器に常に危険が潜んでいるという意識が薄れ、ついついいつもと違った行動とってしまい、大きなケガや最悪の場合は死亡となってしまいます。

安全操業に向け、今一度船内のルールや作業手順を確認していただき、いつも待つ家族の元へケガなく帰港していただきたいと心から願っております。

「運輸安全委員会ダイジェスト」についてのご意見や、出前講座のご依頼をお待ちしております。

〒100-8918

東京都千代田区霞が関 2-1-2

国土交通省 運輸安全委員会事務局

担当：参事官付 事故防止分析官

TEL 03-5253-8823 (内線 54237)

FAX 03-5253-1680

URL <http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>

e-mail hqt-jtsb_analysis@ml.mlit.go.jp